

丸尾雅啓, 日本陸水学会英文誌 “Limnology” 編集委員会, 委員 (2020 年 4 月～2021 年 3 月).
 丸尾雅啓, 日本分析化学会環境分析研究懇談会, 幹事 (2020 年 4 月～2021 年 3 月).
 丸尾雅啓, 日本陸水学会田中賞・吉村賞選考委員 (2020 年 4 月～2021 年 3 月).
 吉山浩平, 日本陸水学会英文誌 「Limnology」 編集幹事 (2020 年 4 月～2021 年 3 月).
 吉山浩平, 日本陸水学会評議員 (2020 年 4 月～2021 年 3 月).

10. マスメディアとの対応

1) TV, ラジオ番組への出演等

小泉尚嗣 (2021) 東日本大震災 10 周年を迎えて, 滋賀県民が地震に対して改めて備えるべきこと, びわ湖放送, 2021 年 3 月 10 日.

2) 新聞、雑誌等からの取材による記事

伴修平, 2020 年. 琵琶故知新記事『小さな小さな「ミジンコ」が琵琶湖の水を浄化する!』, <https://www.biwako.info/biwako/1149/> (2020 年 5 月 5 日).

環境政策・計画学科

1. 受賞

瀧健太郎 (2021) 令和 2 年度優秀職員表彰, 滋賀県立大学

2. 著書

的場信敬, 平岡俊一, 上園昌武編 (2021) エネルギー自立と持続可能な地域づくり——環境先進国オーストリアに学ぶ, 昭和堂, 京都.
 帝国書院編集部編 (2021) 帝国書院 地理シリーズ 新・日本のすがた③近畿地方, 香川雄一, 「近畿地方の水資源を支える琵琶湖・淀川水系」「琵琶湖・淀川水系の環境保全への取り組み」「盛んな近郊農業」「淡路島のたまねぎ栽培と宇治の茶栽培」「京野菜と京料理」「近畿北部の農林業」「但馬地方の畜産業」「伝統産業と工業団地の進出」「漁業などの伝統と豊か

な自然環境を生かした観光」帝国書院, 東京.
 Akerboom, Backes and van Rijswijk, eds. (2021) Environmental Law for Transitions to Sustainability. Kamigawara, K., S. Hieda, T. Renals, Legislation to Manage Invasive Alien Plants in England: What is the Meaning of Landowner Responsibility? 252-264, Intersentia, Cambridge. (学会が書籍化した査読付き論文集)

村上一真 (2021) 環境政策の効果と環境配慮行動の分析: 地域の自然環境の保全と創出の行動経済学, 日本評論社.

B. Andreosso-O' Callaghan et al., eds. (2020) Sustainable Development and Energy Transition in Europe and Asia. Murakami, K. and Kimbara, T., Chapter 6, The relationship between shareholder value and international transfer of environmental management practices, Wiley.

脇田健一, 谷内茂雄, 奥田昇編 (2020) 流域ガバナンス: 地域の「しあわせ」と流域の「健全性」. 石橋弘之, 石田卓也, 高橋卓也, 2-2 上流の森を保全する多様な主体の「緩やかなつながり」, 京都大学学術出版会, 京都.

グリーンインフラ研究会「実践版! グリーンインフラ」編集委員会編 (2020) 実践版! グリーンインフラ. 瀧健太郎, 「流域治水の取り組みが生態系サービスの供給に与える影響」, 第 3 章 13 「滋賀県における減災型治水システムの社会実装」, 第 3 章 25 「霞堤・防備林のグリーンインフラとしての役割」, 日経 BP, 東京.

グリーンインフラ研究会「実践版! グリーンインフラ」編集委員会編 (2020) 実践版! グリーンインフラ. 黄琬恵・橋本禅・吉田丈人・齊藤修・瀧健太郎, 第 3 章 20 「地域治水の取り組みが生態系サービスの供給に与える影響」, 日経 BP, 東京

Kawanabe, H., Nishino, M. and Maehata, M., eds. (2020) Lake Biwa: Interactions between Nature and People. Nakamura, M., Wanda, K., Taki, K. and Hirayama, N. Chapter 6, Evolving Issues Toward Improvement of the Lake Biwa-Yodo River Basin Governance: Second Edition, Springer.

3. 論文

的場信敬, 平岡俊一 (2020) オーストリア・ザルツブルク州の持続可能な社会づくり——LA21 と中間支援組織による複合的な民主的プロセスの構築, *人間と環境* 46 (2) : 37-42.

平岡俊一, 木原浩貴, 豊田陽介, 的場 信敬 (2020) FEDARENE (European Federation of Agencies and Regions for Energy and the Environment) による欧州域内のエネルギー・エージェンシーを対象にした支援活動, *人間と環境* 46 (2) : 62-65.

山添史郎, 豊田陽介, 平岡俊一, 野田浩資 (2020) 政策提言型環境 NPO と草の根型環境 NPO の会員の志向性——NPO 法人「気候ネットワーク」と NPO 法人「びわこ豊穰の郷」を事例として, *京都府立大学学術報告 (公共政策)* 12 : 61-75.

平岡俊一, 的場信敬 (2020) 参加・協働型の持続可能な地域づくり推進のための包括的な促進支援策に関する研究——オーストリアにおけるローカル・アジェンダ 21 を事例に, *龍谷大学政策学論集* 10 (1) : 15-23.

平山奈央子 (2020) 内湖の持続的な管理における地域住民の主体性に影響を与える要因, *環境情報科学 学術研究論文集*, 34 : 61-66.

平山奈央子, 瀧健太郎 (2020) 身近な河川の環境・防災を融合した体験型学習プログラムの効果検証, *土木学会論文集 F6 (安全問題)*, 76 (2) , p. I_75-I_80.

Hirayama, N. and Ide, S. (2020) Role Sharing among Stakeholders in Collaboration Projects for Lake Basin Conservation, *Journal of Environmental Information Science* Vol.2020, No.1: 68-79.

平山奈央子, 山下花音, 馬場友美, 瀧健太郎 (2020) 自治会におけるハザードマップ作成の実態と水害対策の関係 - 滋賀県を対象に -, *土木学会 G (環境) 地球環境研究論文集*, 76 (5) , p. I_253-I_260.

平山奈央子 (2020) 新型コロナウイルス感染拡大時期における感染予防対策の実施に影響を与える要因, *環境経済・政策研究*, 14 (1),

p.43-46.

上河原献二, 前田悠一郎 (2020) 再生可能エネルギー発電施設立地規制条例による太陽光発電施設立地規制について, *環境情報科学 学術研究論文集* 34, 323-328.

白木裕斗, 佐藤真, 村上一真 (2020) 企業における電気自動車の導入実態と導入意思の要因分析, *土木学会論文集 G (環境)* 76 (5) I_187-I_195.

Shiraki, H., M. Sugiyama (2020) Back to the basic: toward improvement of technoeconomic representation in integrated assessment models, *Climatic Change*, 162, 13-24.

Shiraki, H., M. Sugiyama, Y. Matsuo, R. Komiyama, S. Fujimori, E. Kato, K. Oshiro, D. H. Silva (2021) The role of renewables in the Japanese power sector: implications from the EMF35 JMIP, *Sustainability Science*.

Sugiyama, M., S. Fujimori, K. Wada, K. Oshiro, E. Kato, R. Komiyama, D. H. Silva, Y. Matsuo, H. Shiraki, Y. Ju (2021) EMF 35 JMIP study for Japan' s long-term climate and energy policy: scenario designs and key findings, *Sustainability Science*.

Takahashi, T., K. Matsushita and T. Nishimura (2021) Community actions against anticommons of forests in contemporary Japan: case studies of former common forests, *Journal of Forest Research* 26 (1) : 68-74.

Takahashi, T., Y. Uchida, H. Ishibashi and N. Okuda (2021) Subjective well-being as a potential policy indicator in the context of urbanization and forest restoration. *Sustainability* ; 13 (6) : 3211

横川大輝, 中辻崇浩, 瀧健太郎 (2020) 湖岸エネルギーフラックスを用いた卓越風変化に伴う琵琶湖岸タイプの将来予測と適応戦略の検討, *土木学会論文集 G (環境)*, 76 (6), pp.II_219-II226, 2020.

瀧健太郎 (2020) 滋賀県における流域治水の導入プロセス: 河川管理と氾濫原管理, *水環境学会誌*, 43 (8) : 267-270

瀧健太郎 (2020) 流域治水とグリーンインフラ,

新都市, 74 (5) : 1-5

和田有朗, 児玉篤治 (2020) 生活系可燃ごみ有料化の導入と制度変更が生活系ごみ排出量やリサイクル率に与える影響, 環境情報科学 学術研究論文集 34 : 133-138.

4. 作品

なし

5. 報告書、その他著作、一般向け記事

1) 科研費他外部研究費による研究の成果報告書
応用生態工学会災害対応委員会 災害調査団 (2021), 2019 年台風 19 号 (令和元年東日本台風) 災害を踏まえた治水・環境への提言, 瀧健太郎, 第 1 章 2 節「河道整備における提言 - 霞堤 (提言-2)」, 第 2 章 1 節「流域治水に向けた提言 - 堤外と堤内が連携した治水システムの構築 (提言-5)」, 応用生態工学会, 東京.

応用生態工学会災害対応委員会 災害調査団 (2021), 2019 年台風 19 号 (令和元年東日本台風) 災害を踏まえた治水・環境への提言, 原田守啓・瀧健太郎, 第 2 章 3 節「流域治水に向けた提言 - 沿川農地の雨水貯留機能と遊水機能の確保 (提言-7)」, 応用生態工学会, 東京.

応用生態工学会 2019 年台風 19 号災害調査団 (団長: 中村太士, 副団長: 島谷幸宏 (・団員等 瀧健太郎 他 20 名・団体) (2020), 2019 年台風 19 号 (令和元年東日本台風) 災害を踏まえた応用生態工学災害調査団の活動 報告書, 応用生態工学会, 東京.

山田啓二, 新川達郎, 栗山和郎編 (2021), 関西広域連合 10 周年記念誌～関西から新時代をつくる!～, 瀧健太郎, 第 4 部 10 節「琵琶湖淀川流域対策」, 関西広域連合, 大阪

2) 受託研究等の報告書

村上一真 (2020) 住民の省エネ行動を促すための地球 温暖化抑制政策の都市・コミュニティへの効果波及メカニズムの分析, 平成 30 年度大林財団研究助成実施報告書.

3) ハンドブック, 辞典, 図鑑などへの執筆

Hirayama, N. and Nakamura, M. (2020) JICA Training Materials: Integrated Lake Basin Management, Sewerage Policies and Finances in Lake Basin Management, a Case of Lake Biwa, Japan, International Lake Environment Committee Foundation, Shiga Pref.

高橋卓也 (2021) (一社) 日本森林学会 (編), 森林学の百科事典, 項目数 1, 15 森林と社会「森林環境税」丸善出版, 東京.

総合地球環境学研究所 Eco-DRR プロジェクト (2020), グリーンインフラ技術レポート, 渡邊敬史・瀧健太郎, 第 5 章 1 節, 滋賀サイト: 流域治水に Eco-DRR の考え方を統合する.

4) 新聞, 一般向け雑誌等への解説記事など

林宰司 (2020) SDGs と持続可能な社会, 地方自治みえ 334 : 1-4.

林宰司 (2021) 琵琶湖の湖魚から推察される自然環境の変化, 滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科コラム (2021 年 2 月 9 日).

平岡俊一 (2020) 「地域活用型」ではなく「地域創造型」を目指した教育活動の試み, 滋賀県立大学環境科学部環境科学研究科年報 (24) : 14-18.

上園昌武, 歌川学, 北川秀樹, 久保田学, 竹濱朝美, 豊田陽介, 平岡俊一, 的場信敬, 和田武 (2021) 日本環境学会の気候非常事態宣言の意義と今後の課題, 人間と環境 47 (1) : 16-19.

平岡俊一 (2021) 持続可能な地域づくりにおける中間支援組織 - オーストリアと滋賀県東近江市の事例から, 日本地域政策研究 (26) : 122-123.

香川雄一 (2021) COVID-19 と滋賀県. 滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科コラム (2021 年 3 月 1 日).

岩下明裕, 高木彰彦, 山崎孝史, 古川浩司, 香川雄一, 川久保文紀, 北川眞也 (2021) 地政学ルネサンスを超えて - 地理学と政治学の対話 - ラウンドテーブル ~ 『現代地政学事典』 (丸善, 2020 年), 境界研究 11 : 55-84.

金谷健 (2020) 公募型立地選定による廃棄物処

理施設の円滑な立地, 土木学会誌 105 (11) 48-49.

瀧健太郎 (2021) 滋賀県が先導する「流域治水」, 日経コンストラクション, 第 752 号: 36 - 39 日経 BP, 東京.

6. 学会等への発表

平山奈央子 (2020) 内湖の持続的な管理における地域住民の主体性に影響を与える要因, 2020 年度環境情報科学研究発表大会, オンライン (2020 年 12 月 11 日～12 月 18 日).

平山奈央子 (2020) 身近な河川の環境・防災を融合した体験型学習プログラムの効果検証, 土木学会安全問題討論会 2020, オンライン (2020 年 11 月 27 日).

平山奈央子 (2020) 自治会におけるハザードマップ作成の実態と水害対策の関係 - 滋賀県を対象に -, 第 28 地球環境シンポジウム, オンライン (2020 年 9 月 24 日).

香川雄一, 鈴木繁信 (2020) 大阪市西区を対象とした巨大地震による津波の発生に対する避難経路の分析, 地理科学学会大会, 東広島市・オンライン (2020 年 11 月 29 日).

上河原献二, 前田悠一郎 (2020) 再生可能エネルギー発電施設立地規制条例による太陽光発電施設立地規制について, 環境情報科学研究発表大会, オンライン (2020 年 12 月 11 日～12 月 18 日).

村上一真 (2020) 街なかの市民共同発電が住民の節電行動に与える影響の分析, 環境科学会 2020 年会, オンライン (2020 年 9 月 19 ～9 月 20 日).

Sugiyama, M., S. Fujimori, K. Wada, K. Oshiro, E. Kato, A. Kurosawa, R. Komiyama, D. H. Silva, Y. Matsuo, H. Shiraki, S. Sakamoto, Y. Ju (2020) EMF 35 JMIP study: preliminary results and implications for Japan's climate change mitigation, GTAP, Online (June 2020).

Shiraki, H. (2020) Preliminary assessment of generation mix in 2050 using power dispatch model with long-term chronological data, The 26th AIM International Workshop, Online (September 2-3

2020).

白木裕斗, 佐藤真, 村上一真 (2020) 企業における電気自動車の導入実態と導入意思の要因分析, 土木学会 第 28 回地球環境シンポジウム, オンライン, (2020 年 9 月 23 日～9 月 25 日).

Sugiyama, M., S. Fujimori, K. Wada, K. Oshiro, E. Kato, R. Komiyama, D. H. Silva, Y. Matsuo, H. Shiraki, Y. Ju, S. Sakamoto (2020) EMF 35 JMIP study: for Japan's long-term climate and energy policy: scenario designs and overview, IAMC 13th Annual Meeting, Online (December 2nd 2020).

松下幸司, 高橋卓也, 山口幸三, 吉田嘉雄, 仙田徹志 (2020) 経営面積規模別にみた生産森林組合の事業実施状況に関する統計的検討—平成 23 年度森林組合一斉調査による—. 第 71 回応用森林学会, オンライン, (2020 年 11 月 14 日).

高橋卓也, 松下幸司, 仙田徹志, 山口幸三, 吉田嘉雄 (2020) 森林組合の規模と収益等の関係についての統計的分析, 2020 年度林業経済学会秋季大会, オンライン, (2020 年 12 月 5 日～12 月 6 日).

松下幸司, 高橋卓也, 仙田徹志, 山口幸三, 吉田嘉雄 (2020) 生産森林組合の財務に関する一考察, 2020 年度林業経済学会秋季大会, オンライン, (2020 年 12 月 5 日～12 月 6 日).

松下幸司, 高橋卓也, 仙田徹志, 山口幸三, 吉田嘉雄 (2021) 近年の生産森林組合の事業実施状況の変化について—規模による差異を中心に—. 第 132 回日本森林学会大会, 東京農工大学・オンライン, (2021 年 3 月 19 日～3 月 23 日).

柴田晋吾, 柘植隆宏, 高橋卓也 (2021) 生態系サービスの提供についての森林所有者の意識について. 第 132 回日本森林学会大会, 東京農工大学・オンライン, (2021 年 3 月 19 日～3 月 23 日).

高橋卓也, 石橋弘之, 内田由紀子, 奥田昇 (2021) 都市化と森林再生の時代における政策指標としての主観的幸福度. 第 132 回日本森林学会大会, 東京農工大学・オンライン, (2021 年 3 月 19 日～3 月 23 日).

瀧健太郎 (2020) 霞堤の機能とグリーンインフラとしての可能性, 分科会「グリーンインフラとしての遊水地整備と沿川農地での営農の課題・解決策」, GIJ2020, 2020年11月5日.

瀧健太郎 (2020) 流域治水のグリーンインフラとしての役割, 分科会「グリーンインフラとしての遊水地整備と沿川農地での営農の課題・解決策」, GIJ2020, 2020年11月5日.

黄琬惠, 橋本禪, 吉田丈人, 齊藤修, 瀧健太郎 (2020) 滋賀県の流域治水の取り組みは生態系サービスの供給にどう影響するか: シナリオ分析によるグリーンインフラ多機能性評価, ポスターセッション, GIJ2020, 2020年11月5日.

山田由美, 瀧健太郎, 吉田丈人, 一ノ瀬友博 (2021) 愛知川扇状地帯のコウノトリ生息地に対する水利用可能性, 一般講演 (口頭発表), 日本生態学会第68回全国大会, 2021年3月17日.

山田由美, 饗庭正寛, 秋山祐樹, 一ノ瀬友博, 上原三知, 瀧健太郎, 吉田丈人 (2020) 浸水リスクによる被害量推定 - EcoDRR のための土地利用シナリオ開発に向けて -, CSIS DAYS 2020 全国共同利用研究発表大会, 2020年11月20日.

和田有朗, 児玉篤治 (2020) 生活系可燃ごみ有料化の導入と制度変更が生活系ごみ排出量やリサイクル率に与える影響, 2020年度環境情報科学 研究発表大会, オンライン (2020年12月11日~18日).

7. 研究会等、講演会、特別講義での発表

1) 研究会等における発表

HAYASHI, Tadashi (2021) Process of building lake basin governance through multi-stakeholder collaboration: Case study of Akanoi Bay basin, Lake Biwa, The 4th UST-USP Joint Symposium, online (March 5 2021).

平岡俊一 (2020) オーストリアの持続可能な地域づくりにおける中間支援組織とローカル・アジェンダ21について, 一橋大学・自然資源経済研究会, オンライン, 2020年7月9日.

平山奈央子 (2020) 侵略的外来植物管理における市民活動・琵琶湖赤野井湾のオオバナミズキンバイ問題を事例として, 水陸両生の侵略的外来植物の管理に関するワークショップ, オンライン, 2020年6月.

平山奈央子 (2020) 湖沼環境保全のための流域連携, 河北潟流域シンポジウム, オンライン, 2021年3月14日.

井手慎司 (2020) 日本国内湖沼の流域保全のための連携事例について, 長栄大学 (台南市, 中華民国), 台湾流域環境保全フォーラム, リモート開催, 2020年11月6日.

香川雄一 (2021) 琵琶湖のヨシ原の管理と住民・市民-ヨシ群落保全創造業務の経験から-, 「水辺の環境保全とヨシの活用・市民参加」勉強会, オンライン, 2021年3月21日.

上河原献二他 (2020) 侵略的外来植物管理のための法制度-フランス, イングランド, 日本におけるオオバナミズキンバイ管理に関する事例研究, 水陸両生の侵略的外来植物の管理に関するワークショップ, オンライン, 2020年6月.

上河原献二, 稗田真也, トレバー・ルナールズ (2020) 「土地所有者責任」とは何か? - イングランドにおける侵略的外来植物管理法制, 水陸両生の侵略的外来植物の管理に関するワークショップ, オンライン, 2020年6月.

白木裕斗 (2020) 長期低排出発展戦略下の電力システムにおける再生可能エネルギーの役割: EMF35 JMIP からの含意, 再生可能エネルギー・モデリングに関する研究ワークショップ, オンライン, 2020年11月19日.

Takahashi, T., Y. Uchida, H. Ishibashi and N. Okuda (2020) Subjective well-being related to forests and common forests in the era of post-development: A potential policy indicator for industrialized and developing countries. IASC (International Association for the Study of the Commons) - RIHN (Research Institute for Humanity and Nature) Online Workshop on Commons, Post-Development and Degrowth in Asia, Session 5 Good Life, On-line, 2020-7-22

Takahashi, T., Y. Kagotani, T. Takada and T. Irie (2021) Fieldwork goes online: A case of “Wood and Life.” The 4th University of Santo Tomas and University of Shiga Prefecture Joint Symposium, online, 2021年3月4日.

Takahashi, T., Y. Uchida, H. Ishibashi and N. Okuda (2021) Factors affecting forest-related subjective well-being: A case study in the upper Yasu River watershed, Shiga Prefecture, Japan. The 4th University of Santo Tomas and University of Shiga Prefecture Joint Symposium, online, 2021年3月5日.

瀧健太郎 (2020) 滋賀県版流域治水～基本コンセプトと展望～, 応用生態工学会金沢 WEB 研修会, 2020年12月10日.

瀧健太郎 (2020) Eco-DRR 施設群の性能評価および最適計画に関する基礎的研究, 水研究会, 2020年7月18日.

瀧健太郎 (2020) 流域治水と多自然川づくり, 第28回リバーフロント研究所研究発表会, 公益財団法人リバーフロント研究所, 2020年12月16日.

瀧健太郎 (2021) 滋賀県版流域治水～基本コンセプトと展望～, 第18回防災研究会, 北海道立総合研究機構, 2021年3月10日.

瀧健太郎 (2021), グリーンインフラと流域治水, 社会資本整備審議会及び交通政策審議会環境部会及び技術部会 グリーン社会 WG (第2回), 2021年3月19日.

瀧健太郎 (2021), 流域治水の展望と課題, 2020年度第6回研究会「淀川水系の流域治水を考える～どうすれば命も環境も守れるのか～」, 龍谷大学里山学研究センター, 2021年3月19日.

2) 講演会

平岡俊一 (2020) 持続可能な地域づくりを見据えた地球温暖化対策の展開, 滋賀県地球温暖化防止活動推進員研修, 滋賀県地球温暖化防止活動推進センター, 滋賀県庁, 2020年9月9日.

平岡俊一 (2020) 必要とされる「足腰の強い」

まちづくり——防災×CO2削減を例に考える, シンポジウム「水害にどのように向き合うか」, 桐原学区協働まちづくり協議会・滋賀県地球温暖化防止活動推進センター, 桐原っ子ホール, 2020年11月28日.

平岡俊一 (2020) パネルディスカッション——身近な米川で学び, 楽しもう・コーディネーター, 米川フォーラム——身近で楽しめる水辺づくり, 長浜地区地域づくり連合会, 長浜まちづくりセンター, 2020年11月29日.

平岡俊一 (2021) 脱炭素の地域づくりに向けて期待されるこれからの取り組み, 地球温暖化防止活動推進員・推進センター関西合同研修会, 関西広域連合, オンライン, 2021年1月19日.

平岡俊一 (2021) 持続可能な脱炭素地域づくり推進に向けた支援体制の整備について, 地域エネルギー事務所づくりに向けた検討研究会(仮)準備会(鳥取県), オンライン, 2021年2月19日.

平山奈央子 (2020) 湖沼環境保全のための流域連携, 河北潟流域シンポジウム, オンライン, 2021年3月14日.

高橋卓也 (2021) 甲賀市森林・林業シンポジウムコーディネーター. 忍の里プララ, 甲賀市, 2021年2月27日.

高橋卓也 (2021) シリーズ「グリーンリカバリー」vol.5, 『ポスト・コロナ時代に向けて持続可能な交通とまちづくりを考える～事業者、行政、市民が今やるべきこと』コーディネーター, 滋賀農業教育情報センター, オンライン, 大津市, 2021年3月16日.

瀧健太郎 (2020) できることからはじめよう 水辺の小さな自然再生, びわこセブンの森 小さな自然再生オンライン講座, 2020年6月11日.

瀧健太郎 (2020) これからの治水・川づくり, 令和2年度滋賀県土木技術職員基礎研究【河川講座】, 滋賀県土木交通部, 2020年6月25日.

瀧健太郎 (2020) 滋賀県の治水～今と昔, そしてこれから, つがやま市民教養文化講座, 一般財団法人 守山野洲市民交流プラザ「ライズヴィル都賀山」, 2020年7月18日.

瀧健太郎 (2020) 「小さな自然再生」で地域づくり～「小さな自然再生」の波及効果～, 宮崎県自然豊かな工法研究会, 2020年8月6日.

瀧健太郎 (2020) 川の自然と防災, 新大宮川学連続講座 (第3回), 2020年9月12日.

瀧健太郎 (2020) 滋賀県の流域治水～制度設計の基本コンセプト～, 武庫川づくり環境フォーラム 車座ディスカッション, 2020年10月31日.

瀧健太郎 (2020) 「小さな自然再生」で地域づくり～「小さな自然再生」の波及効果～, 吉野川川塾 小さな自然再生研修会, 2020年11月15日.

泉野珠穂・瀧健太郎 (2020) パープ工の働き, 第11回「小さな自然再生」現地研修会 in 美山川, JRRN・芦生自然再生学校, 2020年11月28日.

瀧健太郎 (2020) 「できることからはじめよう水辺の小さな自然再生」～魅力的なかわまちづくり～, 米川フォーラム, 長浜地区地域づくり連合会, 2020年11月28日.

瀧健太郎 (2020) グリーンインフラの視点から流域治水を考える, グリーンインフラ官民連携プラットフォーム プレナリーセッション (合同部会), 国土交通省総合政策局, 2020年12月17日.

瀧健太郎 (2020), 流域治水対策の評価～EcoDRRの視点から～, 公開座談会「気候変動時代の自然環境保全と水防災」, 国立環境研究所, 2020年12月17日.

瀧健太郎 (2021) 小さな「流域治水」のススメ, KAWAREL MIZUBERING CAMPUS 公共越境力養成講座 DAY6, ミズベリングプロジェクト事務局, 2021年1月28日.

瀧健太郎 (2021) 小さな自然再生と流域治水, 静岡県地域づくり発表会 2020, 静岡県, 2021年2月16日.

瀧健太郎 (2021) 流域治水における建築物への期待, シンポジウム「建築物の水災害対策」, 政策研究大学大学院・建築研究所共催, 2021年2月17日.

瀧健太郎 (2021) 水辺の小さな自然再生～魅力

的な川まちづくり, 「目田川でほたるの自生をめざす小さな自然再生」講演会, 特定NPO法人びわこ豊穡の郷, 2021年3月21日.

和田有朗 (2020) 都市河川への親水性の確保と地域住民－神戸市での取り組みから－, 米川フォーラム パネルディスカッション, 長浜地区地域づくり連合会, 長浜まちづくりセンター, 2020年11月29日.

3) 授業

白木裕斗 (2020) エネルギー各論／エネルギーシミュレーション, 2020年度次世代エネルギーワークショップ名古屋 (開講者: 名古屋市立大学), オンライン (2020年10月17日, 11月14日).

白木裕斗 (2021) エネルギーシステム研究・エネルギーシミュレーションに関する指導, 福島高等専門学校, オンライン (2021年1月19日, 1月23日).

8. 展覧会等

なし

9. 競争的研究資金の導入

1) 本学特別研究

井手慎司, 香川雄一, 上河原献二, 瀧健太郎, 林宰司, 村上一真, 和田有朗, 平岡俊一, 平山奈央子, 李愛年, 肖愛, 魯希, 湖沼保護ガバナンスの日中比較分析: 琵琶湖の経験・洞庭湖の社会実験の事例を踏まえて, 教育研究高度化促進費, 2020年度～2022年度, 150万円.

2) 科学研究費補助金

平岡俊一, 的場信敬, 木原浩貴. 自治体エネルギー政策を支える中間支援組織の体制整備と機能強化に関する研究, 基盤研究 (C), 平成30～令和2年度, 120万円.

平山奈央子. 湖沼流域の現状に対する住民評価と専門家評価の差異の解明: 評価構造に着目して, 基盤研究 (C), 平成31～令和3年度, 110万円.

香川雄一、沿岸域における近代以降の環境史についての環境地政学的研究，基盤研究（C），令和元～3年度，80万円。

上河原献二，野間直彦，平山奈央子，中井克樹。侵略的外来生物管理制度における「迅速な対応」成立の社会的条件に関する国際比較研究，基盤研究（C），平成31年度～令和3年度，104万円。

村上一真。他者に見える省エネ・省資源行動の包括的な意思決定プロセスの解明と促進情報の検証，基盤研究（C），令和2～5年度，100万円。

村上一真。環境政策の効果と環境配慮行動の分析，研究成果公開促進費，令和2年度，130万円。

河内幾帆，中井美和，村上一真，伊藤博，U理論に基づいた自律性支援型ESD授業における動機づけ評価指標の実証的研究，基盤研究（C），令和2～6年度，3万円。

松下幸司，仙田徹志，山口幸三，高橋卓也，吉田嘉雄。所有者や境界が不明な森林の増加問題に関するミクロ統計的分析。基盤研究（B），90万円。

瀧健太郎，原田守啓，田中耕司，堀智晴，山田由美，永山滋也，吉田丈人。Eco-DRR施設群の性能評価および最適計画に関する基礎的研究，基盤研究（B），2020～2023年度，1,209万円。

大原美保，安川雅紀，川崎昭如，本間香貴，角田毅，横松宗太，瀧健太郎。気候変動下での持続的な地域経済発展への政策立案のためのハイブリッド型水災害リスク評価の活用，国際科学技術共同研究推進事業 地球規模課題対応国際科学技術協カプログラム（SATREPS），2020～2024年度，200万円。

10. 研究員の受入

11. 特許、実用新案、品種登録、意匠、その他著作権に関わる事項

12. 社会への貢献

1) 各種委員会

林宰司，彦根市パーク・アンド・バスライド実

施協議会，委員，2回（2020年4月～2021年3月）。

林宰司，認定特定非営利活動法人地球環境市民会議（CASA），理事（2020年4月～2021年3月）。

平岡俊一，環びわ湖大学・地域コンソーシアム「大域連携課題解決支援事業」選考委員会，委員，1回（2020年4月～2021年3月）。

平岡俊一，認定特定非営利活動法人気候ネットワーク，理事（2020年4月～2021年3月）。

平岡俊一，一般社団法人くしろソーシャルデザインネットワーク，代表理事（2020年4月～2021年3月）。

平岡俊一，認定特定非営利活動法人まちづくりネット東近江，理事（2020年8月～2021年3月）。

平岡俊一，滋賀県地球温暖化防止活動推進センター「省エネ・脱CO2のまちづくり」事業，アドバイザー（2020年8月～2021年2月）。

平山奈央子（2020）淀川水系流域委員会 委員，2回（2020年4月～2021年3月）。

平山奈央子（2020）河川レンジャー制度運営委員会 委員，2回（2020年4月～2021年3月）。

平山奈央子（2020）滋賀県環境審議会 委員，1回（2020年4月～2021年3月）。

平山奈央子（2020）滋賀県農村振興交付金制度審議会 委員，1回（2020年4月～2021年3月）。

平山奈央子（2020）滋賀県農政水産部建設工事等総合評価審査委員会 委員，1回（2020年11月～2021年3月）。

平山奈央子（2020）滋賀県淡海の川づくり検討委員会 委員，1回（2020年4月～2021年3月）。

平山奈央子（2020）彦根愛知犬上地域新ごみ処理施設整備連絡協議会 委員，2回（2020年4月～2021年3月）。

平山奈央子（2020）近江八幡市環境審議会 副会長，3回（2020年4月～2021年3月）。

平山奈央子（2020）大津市廃棄物減量等推進審議会 副会長，1回（2020年4月～2021年3月）。

平山奈央子（2020）彦根市廃棄物減量等推進審議会 副会長，1回（2020年4月～2021年3月）。

平山奈央子 (2020) 生活協同組合コープしが
できるコトづくり制度助成金審査委員会 委
員, 1回 (2020年4月～2021年3月).

平山奈央子 (2020) マザーレイクフォーラム運
営委員会 委員, 2回 (2020年4月～2021年
3月).

井手慎司, 滋賀県環境こだわり農業審議会, 会長,
滋賀県食のブランド推進課, 1回 (2020年4
月～2021年3月).

井手慎司, 滋賀県琵琶湖レジャー利用適正化審
議会, 会長, 滋賀県琵琶湖保全再生課, 4回
(2020年4月～2021年3月).

井手慎司, 滋賀県マザーレイク21計画学術
フォーラム, 委員, 滋賀県琵琶湖保全再生課,
1回 (2020年4月～2021年3月).

井手慎司, マザーレイクフォーラム運営委員会,
委員, 滋賀県琵琶湖保全再生課, 8回 (2020
年4月～2021年3月).

井手慎司, 赤野井湾流域流出水対策推進連絡会
フォローアップ会議, 会長, 滋賀県琵琶湖政
策課, 1回 (2020年4月～2021年3月).

井手慎司, 滋賀県環境学習推進協議会, 副座長・
座長, 滋賀県琵琶湖保全再生課, 3回 (2020
年4月～2021年3月).

井手慎司, 米原市環境審議会, 会長, 米原市環
境保全課, 1回 (2020年4月～2021年3月).

井手慎司, 愛荘町環境審議会 会長, 愛荘町環境
対策課, 1回 (2020年4月～2021年3月).

井手慎司, 竜王町総合計画審議会, 委員, 竜王町
未来創造課, 7回 (2020年4月～2021年3月).

井手慎司, 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター,
評議員, 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター,
1回 (2020年4月～2021年3月).

井手慎司, 国際湖沼環境委員会評議員会, 評議
員, 国際湖沼環境委員会, 2回 (2020年4月
～2021年3月).

井手慎司, 国際湖沼環境委員会研修教材改訂検
討委員会, 委員, 国際湖沼環境委員会, 1回
(2020年4月～2021年3月).

井手慎司, 淡海文化振興財団理事会, 理事, 淡
海文化振興財団, 1回 (2020年4月～2021年
3月).

井手慎司, 未来ファンドおうみ運営委員会, 委
員長, 淡海文化振興財団, 4回 (2020年4月
～2021年3月).

井手慎司, 淡海環境保全財団評議会, 評議員,
淡海環境保全財団, 1回 (2020年4月～2021
年3月).

井手慎司, NPO法人子どもと川とまちのフォー
ラム理事会, 理事長, 子どもと川とまちのフォー
ラム, 6回 (2020年4月～2021年3月).

井手慎司, 湖辺の環境修復手法検討会(環境省「令
和2年度琵琶湖保全再生対策調査検討業務」),
座長, 東レテクノ株式会社, 3回 (2020年4
月～2021年3月).

香川雄一, 東京大学空間情報科学研究センター,
客員研究員, 1回 (2020年4月～2021年3月).

香川雄一, 近江八幡市環境審議会, 委員 (会長),
4回 (2020年4月～2021年3月).

香川雄一, 近江八幡市風景づくり委員会, 委員,
1回 (2020年4月～2021年3月).

香川雄一, 高島市ごみ処理施設建設検討委員会,
委員, 1回 (2019年4月～2020年3月).

香川雄一, 地理空間情報活用推進に関する近畿
地区産学官連携協議会, 委員, 1回 (2020年
4月～2021年3月).

上河原献二, 彦根市環境審議会, 会長, 3回 (2020
年4月1日～2021年3月31日).

上河原献二, 長浜市環境審議会, 会長, 3回 (2020
年4月1日～2021年3月31日).

上河原献二, 琵琶湖外来水生植物対策協議会,
構成団体 (滋賀県立大学環境科学部) 代表,
大津市, 2回 (2020年4月～2021年3月).

金谷健 (2020) 「クリーンセンター滋賀」環境監
視委員会, 委員長, 1回 (2020年4月～2021
年3月).

金谷健 (2020) 「買い物ごみ減量推進フォーラム
しが」全体会議, 座長, 2回 (2020年4月～
2021年3月).

金谷健 (2020) 彦根市廃棄物減量等推進審議会,
会長, 1回 (2020年4月～2021年3月).

金谷健 (2020) 草津市廃棄物減量等推進審議会,
委員, 7回 (2020年4月～2021年3月).

金谷健 (2020) 栗東市ごみ処理施設整備検討委

員会, 委員長, 3回(2020年8月~2021年3月).
金谷健(2020) 湖東定住自立圏推進協議会 環境・ごみ処理部会) ごみ分別方法統一化等検討委員会, 委員長, 1回(2021年2月~2021年3月).
金谷健(2020) 湖北広域行政事務センタークリスタルプラザ管理運営委員会, 委員長, 1回(2020年4月~2021年3月).
金谷健(2020) 湖北広域行政事務センター廃棄物減量等推進審議会, 会長職務代理者, 3回(2020年4月~2021年3月).
金谷健(2020) 八幡市環境審議会, 副会長, 2回(2020年4月~2021年3月).
金谷健(2020) 茨木市環境審議会, 委員, 4回(2020年5月~2021年3月).
金谷健(2020) 大和高田市ごみ中継施設建設工事事業者選定プロポーザル審査委員会, 委員, 2回(2021年1月~2021年3月).
村上一真, 彦根市工場等設置奨励審査会 委員, 彦根市商工課, 1回(2020年4月~2021年3月).
白木裕斗, 国立環境研究所社会環境システム研究センター, 客員研究員, (2020年4月1日~2021年3月31日).
白木裕斗, 愛荘町エコパートナーシップ会議, 委員長(2020年3月~2021年3月).
白木裕斗, 長浜市地球温暖化対策実行計画策定委員会, 委員長, 3回(2020年4月~2021年3月).
白木裕斗, 脱炭素社会を拓く高校生・高専生向けプログラムの開発・普及研究会, 委員, 3回(2020年7月~2021年4月).
白木裕斗, 滋賀県企業庁再生可能エネルギー利用促進等検討会, アドバイザー(2021年2月~).
高橋卓也, 近江八幡市廃棄物減量等推進審議会, 副委員長・委員, 近江八幡市, 2回(2020年4月~2021年3月).
高橋卓也, 特定非営利活動法人三方よし研究所, 理事, 4回(2020年4月~2021年3月).
高橋卓也, 滋賀グリーン活動ネットワーク, 副会長・理事, 滋賀グリーン活動ネットワーク, 4回(2020年4月~2021年5月).

高橋卓也, 滋賀の林業・森林文化等啓発資料編集委員会, 委員長・委員, 滋賀県, 3回(2020年9月~2021年3月).
高橋卓也, 滋賀県地域協議会(森林・山村多面的機能発揮対策), 副会長, 滋賀県地域協議会, 1回(2019年4月18日).
高橋卓也, 滋賀もりづくりアカデミー講座検討委員会, 委員長・委員, 滋賀県, 1回(2019年12月~2022年12月).
高橋卓也, 大学連携政策事業推進委員会, 委員, 滋賀県, 3回(2020年8月~2021年3月).
高橋卓也, 第3次草津すみどりの基本計画策定委員会, 委員長・委員, 草津市, 3回(2020年3月~2022年1月).
高橋卓也, 第50回全国林業後継者大会滋賀県実行委員会, 副委員長・委員, 滋賀県, 1回(2021年3月~2022年6月).
高橋卓也, 第72回全国植樹祭滋賀県実行委員会・式典専門委員会, 委員, 滋賀県, 2回(2019年3月~2022年2月).
高橋卓也, ながはま森林マッチングセンター業務推進連絡会議, 会長・委員, ながはま森林マッチングセンター, 2回(2020年4月~2021年3月).
高橋卓也, リサイクル認定製品懇話会, 委員, 滋賀県, 1回(2020年4月~2021年3月).
高橋卓也, 栗東市公の施設指定管理者選定委員会, 委員・委員長, 栗東市, 2回(2020年8月~2020年11月).
瀧健太郎, 愛知川内水面漁業振興協議会, 委員, 滋賀県農政水産部, 3回(2020年4月~2021年3月).
瀧健太郎, 河川・海岸環境機能等検討委員会, 委員, 公益財団法人リバーフロント研究所, 5回(2020年4月~2021年3月).
瀧健太郎, グリーンインフラ官民連携プラットフォーム 技術部会, 幹事, 国土交通省総合政策局, 3回(2020年6月~2021年3月).
瀧健太郎, 多賀町史編纂委員会, 多賀町, 委員, 2回(2020年7月~2021年3月).
瀧健太郎, まいばら協働事業提案制度 審査委員, 米原市, 2回(2020年7月~2021年3月).

瀧健太郎, 科学技術専門家ネットワーク, 専門調査員, 文部科学省, 8回 (2020年4月1日～2021年3月).

瀧健太郎, 気候変動適応北海道広域協議会 EcoDRR 分科会, 委員, 環境省北海道環境事務所, 2回 (2020年4月～2021年3月).

瀧健太郎, 自然生態系を基盤とする防災・減災の推進に関する検討会, 環境省自然環境局, 2回 (2020年12月～2021年3月).

和田有朗, 高島市環境審議会, 副会長 (2020年4月～2021年3月).

和田有朗, 大津市環境審議会, 委員, 2回 (2020年4月～2021年3月).

2) 学会貢献

林宰司, 環太平洋産業連関分析学会運営委員 (2020年4月～2021年3月).

林宰司, 日本現代中国学会会関西部会理事 (2020年11月～2021年3月).

平岡俊一, 日本環境学会編集委員会副委員長 (2020年4月～2021年3月) 香川雄一, 人文地理学会 理事 (2020年4月～2021年3月).

香川雄一, 人文地理学会 学会賞候補者選考委員会, 委員 (2020年4月～2021年11月).

香川雄一, 人文地理学会 集会常任理事 (2020年11月～2021年3月).

香川雄一, 人文地理学会 大会準備委員会, 委員 (2021年1月～2021年3月).

村上真一, 環境科学会, 企画・学会連携担当幹事, 2回 (2020年4月～2021年3月).

白木裕斗, エネルギー・資源学会ワークショップ幹事 (2014年4月～2021年3月).

白木裕斗, エネルギー・資源学会代議員 (2020年4月～2021年3月).

Takahashi, T., Corporate Social Responsibility and Environmental Management (John Wiley & Sons), Editorial Board Member (インターネット上で業務に従事) (2020年4月～2021年3月).

Takahashi, T., Jurnal Manajemen Hutan Tropika (JMHT) (Journal of Tropical Forest Management), Reviewer (インターネット上で業務に従事).

高橋卓也, 水資源・環境学会, 理事, (インターネット上で業務に従事), (2020年4月～2021年3月).

高橋卓也, 水資源・環境学会, 広報委員会, (インターネット上で業務に従事), (2020年4月～2021年3月).

高橋卓也, 『水資源環境研究』編集委員会, 編集委員, (インターネット上で業務に従事), (2020年4月～2021年3月).

高橋卓也, 林業経済学会, 評議員, 2回 (2020年4月～2021年3月).

瀧健太郎, 応用生態工学会 令和元年台風19号災害調査団, 2020年4月～2021年3月

和田有朗, 土木学会 環境システム委員会委員 (2020年4月～2021年3月).

和田有朗, 土木学会 環境システム委員会論文審査小委員会委員 (2020年4月～2021年3月).

和田有朗, 土木学会 環境システム委員会アブストラクト論文審査委員, 主査 (2020年4月～2021年3月).

3) 国際貢献

井手慎司, JICA 留学生向け地域理解プログラム「琵琶湖をめぐる開発の教訓」, JICA, 琵琶湖博物館, 2020年11月13日.

井手慎司, Conservation and Citizen activities for Environment, JICA 統合的流域(河川・湖沼・沿岸域等)管理による水資源の持続可能な利用と保全, 国際湖沼環境委員会, リモート開催, 2021年1月27日.

井手慎司, Introduction to Lake Modeling, JICA 統合的流域(河川・湖沼・沿岸域等)管理による水資源の持続可能な利用と保全, 国際湖沼環境委員会, リモート開催, 2021年1月29日.

Kamigawara, K., External Examiner for a student for the award of Master's by Research at Bournemouth University, UK, from March 2021, online.

Kamigawara, K., External review comments on thematic assessment of invasive alien species and their control, Intergovernmental Platform on

Biodiversity and Ecosystem Services (IPBES) ,
October 2020.

Takahashi, T., The 4th University of Santo Tomas and
University of Shiga Prefecture Joint Symposium
Committee member, online, 2021年3月4～5日.

Takahashi, T., MC (Management Committee) Ob-
server to COST Action CA15206 (Payments for
Ecosystem Services (Forests for Water)) . Eu-
ropean Cooperation in Science and Technology
(COST) (2020年4月～2021年3月).

13. マスメディアとの対応

1) 新聞、雑誌等からの取材による記事

平岡俊一 (2021) 日本製紙釧路工場閉鎖を踏ま
えた釧路市の今後のまちづくりについて、釧
路新聞, 2021年2月10日朝刊.

村上真一 (2020) 人間の心理から省エネ行動を
科学する一緑のカーテンの可能性を探る, af
Magazine ～旭硝子財団 地球環境マガジン
～, 2020年4月28日.

瀧健太郎 (2020) 東海豪雨20年特集「豪雨列島『流
域治水』にかじ」, 中日新聞, 総合3面, 2020
年9月12日.

瀧健太郎 (2020) 特集記事「流域全体で水害に
備える」, 朝日新聞 (全国版), 22面, 2020年
10月13日.

瀧健太郎 (2021) 滋賀ラボ 大学×地域「愛され
る川 どう守る」, 京都新聞 (滋賀版) 21面,
2020年5月23日.

2) TV, ラジオ番組への出演等

横川昌史, 中井克樹, 上河原献二他, 久米田池を
守れ - オオバナミズキンバイの駆除、テレビ
岸和田, 2021年1月30日.

瀧健太郎 (2020) NHKスペシャル「“最強”
台風接近 どう守る 命と暮らし」スタジオ解
説, NHK, 2020年9月5日.

瀧健太郎 (2020) しが！！防災応援ラジオ「川
に親しむ防災～大津市“新大宮川”を歩く～」
現地解説, NHK-FM (滋賀県域), 2020年9
月18日.

瀧健太郎 (2020) おうみ発630「川の災害か

ら身を守る」スタジオ解説, NHK大津放送
局, 2020年10月29日.

3) その他

なし

環境建築デザイン学科

1. 受賞

芦澤竜一 (2020) ,DFA Design for Asia Awards
2020 Bronze Award ,Hong Kong Design Centre,
南花田の墳 (no.50)

芦澤竜一 (2020) ,Architizer A+Firm Awards 2021
Special Mention ,Architizer

芦澤竜一, 陶器浩一, 橋本光祐, 幸永幹真, 川畑
太輝 (2020) , 守山市北部図書館等機能整備工
事設計業務プロポーザル1等 滋賀県守山市

芦澤竜一, 陶器浩一, 川畑太輝, 幸永幹真 (2020),
(仮称) かつうら海中公園滞在型観光施設建
設工事基本瀬系業務委託 公募型プロポーザル
2等 千葉県勝浦市

芦澤竜一, 川井操, 橋本光祐, 黒木一輝, 村橋碧空,
山田啓真 (2020) , 2020年度日本建築学会技
術部門設計競技 優秀賞

芦澤竜一, 芦澤竜一研究室 (2020) トウキョウ
建築コレクション2021 プロジェクト展 「流
木ハット - 流木を構造体とした縄文建築」, 来
場者投票3等

金子尚志 (2020), キッズデザイン賞2019年, キッ
ズデザイン協議会, LDK+K

金子尚志 (2020), グッドデザイン賞2020年,
公益財団法人日本デザイン振興会, セリオス
サイディング「スターラインプライム」

金子尚志 (2020) , BCS賞 2021年4月, パッ
シブタウン黒部 第1街区, 日本建設業連合
会

橋本光祐, 芦澤竜一, 川井操, 黒木一輝, 村橋碧空,
山田啓真, 手紡ぎ手織りの生地をつくる村 -
「カディ工房」建設からはじまる事物の再連
環一, 2020年度日本建築学会技術部門設計競
技 優秀賞